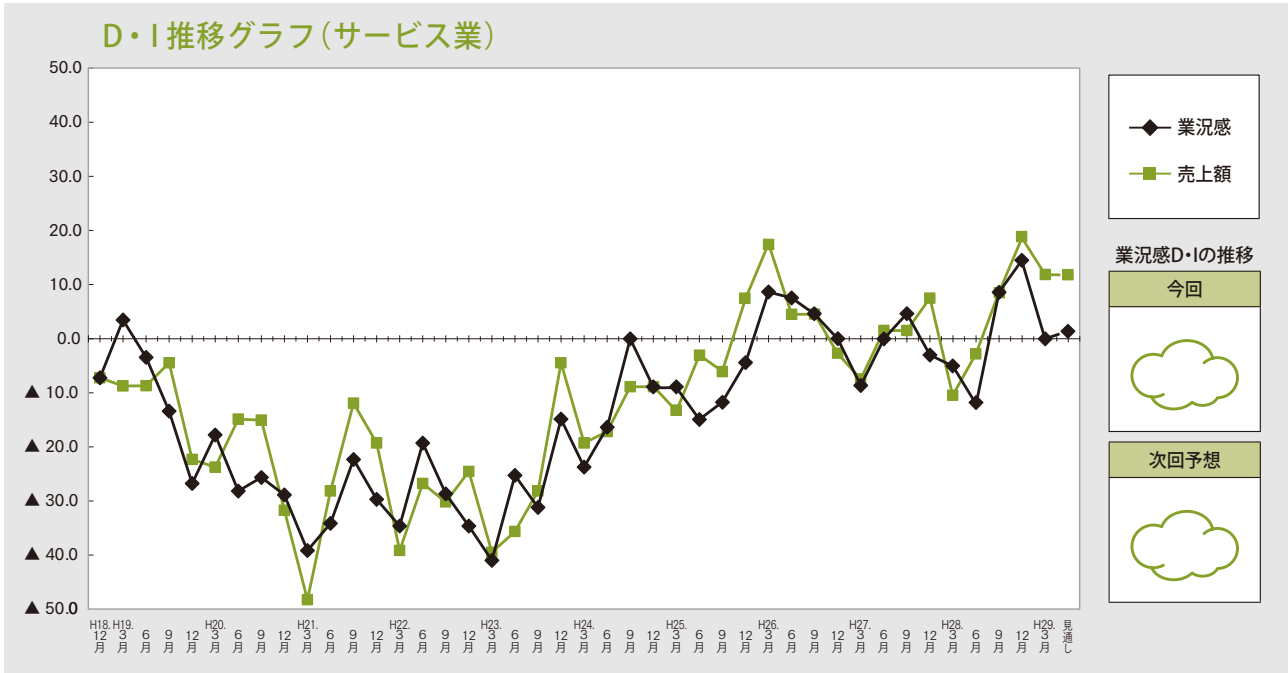


サービス業

Service industry

業況感、3期ぶりに悪化



1 今期 (平成29年1 - 3月期)

前期まで2期連続で改善し、前期D I値が14.5まで改善した業況感は、前期比で14.5ポイント低下した。項目別に見ても、売上額、収益ともにD I値はプラスを維持したものの、4期ぶりに悪化した。特に3期連続で前期比プラスとなるなど好調であった収益については、前期21.7から1.5と20.2ポイントの大幅な悪化となり、これまでの反動が表れた結果となった。

2 来期の予想 (平成29年4 - 6月期)

来期の業況感は、1.5となり、やや改善する予想となっている。売上額は横ばい、収益はやや改善する見込みである。材料価格のD I値が再び悪化することが予想されており、低い水準でとどまっている状況にある。資金繰りはやや改善もD I値のマイナスは続いており、雇用、設備状況についても依然として不足感が続く予想である。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H28. 3月期	H28. 6月期	H28. 9月期	H28. 12月期	H29. 3月期	来期 見込み
業況感	▲ 5.9	▲ 11.8	8.8	14.5	0.0	1.5
売上額	▲ 10.3	▲ 2.9	8.8	18.8	11.8	11.8
収益	▲ 8.8	▲ 2.9	1.5	21.7	1.5	4.4
料金価格	8.8	1.5	5.9	5.8	0.0	▲ 1.5
材料価格	▲ 7.4	▲ 7.4	▲ 16.2	▲ 14.5	▲ 8.8	▲ 10.4
在庫	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 10.3	▲ 19.1	▲ 10.3	▲ 5.8	▲ 8.8	▲ 5.9
人手	10.3	7.4	2.9	13.0	5.9	5.9
設備状況	7.4	7.4	13.2	23.2	16.4	16.4

業況調査メモ

JR西日本のクルーズトレイン「TWILIGHT EXPRESS瑞風」が6月17日運行開始されるが、6～9月の乗車については募集368件に対し、応募2022件、平均倍率5.5倍、最高倍率68倍という人気だった。日本のクルーズトレインの先駆けとなったJR九州の「ななつ星in九州」は2013年10月に運行開始され、17年3～9月出発分の第10期で申し込み3774件と平均22.5倍、最高86倍と相変わらずの人気ぶりだ。第10期の年代別申込割合は60代が26.5%と最も多く、次いで70代20.8%、50代19.9%と続く。50～70代にターゲットを絞った時間消費型商品のニーズは根強いものがある。